



『好奇心こそ我が人生の原動力』
 ～楽しくなければ人生じゃない～

印刷製本 ナカバヤシ(株) 一九九七年

一読を推薦する。

藤原 剛(元四天王寺国際仏教大学教授)
 『……今後、厭でも応でも終身雇用を中心とする日本の雇用形態は、リストラその他の理由で崩れてくる。そうせねば、国際競争力は維持できまい。私は小原氏が苦難を克服しつつ学士入学を繰り返し、自らを磨き上げた実績と経験は、むしろ今後自分の真の才能を求め、場合によっては転職を考えざるを得ない、会社諸氏の大きな参考になると確信してこの著書を推薦したい』



『体験的学士入学のすすめ』
 ～自己啓発はのびのびと～

発行所 (株)文芸社 二〇〇〇年

『今こそ「自己実現欲」を満たす時だ。知的好奇心の旺盛な社会人や真剣に「学ぶ」意欲のある若者へ捧げる自伝的啓発書』

会社に勤務しながら、退社後の時間を活用して大阪市立大学へ通学し、法学部や商学部で学んだ知識は会社での業務に活用出来たが、放送大学で得た知識は最新であった。蟹の横ばいのような学習であったが、それぞれに学問の体系があり2階の窓を四方に開けたような感じがしている。

(あとがきより)



『男の遺言状』
 ～後輩ビジネスマン諸氏に捧げる、積極的な生き方指南～

発行所 (株)文芸社ビジュアルアート 二〇〇七年

私の人生で、人と少し変わっていたとすれば、全てに対して楽天的で挑戦したことだろう。学士入学を繰り返したのも、その一つの現れである。

取り立てて自慢するほどの事ではないが、知的好奇心を満たすのに少しは役に立ったと自己満足している。何時もプラス思考、楽天的に対処するのが、精神的、肉体的に健康を保つ秘訣である。

(あとがきより)



『維新の力で、まちを変えようや!』
 ～71歳、市議会議員への初挑戦～

発行所 (株)文芸社 二〇一七年

71歳で市議員に立候補に至るまでの気持ちの変化や手続き、また新人議員から見た現制度に対する疑問や改革事項等、投票する側の私たちが知りえない苦労、細かい準備等、とても興味深い内容で判り易く書かれていて、楽しく読ませていただきました。「政治に携わる人は、奉仕精神の持ち主が必須条件」の記述に拍手を送りたい。政治家がみんな「奉仕精神」を持っていたら、日本はきっと素晴らしい国になる事でしょう。自分でボランティアをされていて日頃思っている事が・・・と感動させて頂きました。

(神奈川県在住女性)